

「9月10日は何の日でしょう。」

技術戦略部調査役（建築）柴田 翼

平成26年3月に8月11日が「山の日」として成立しました。新たな国民の祝日としては「海の日」以来のことです。7月後半から8月にかけて長期の夏休みが確保されている学生の方にとっては有難みが薄いと感じますが、会社等への勤め人にとっては、盆休みと連動させて長期休暇がとりやすくなる面もあるので、期待が高まるどころです。ただ、導入は再来年の平成28年からとのこと。その理由として「来年の祝日は今年の2月に確定し、それを基に出版業界等が既に来年に向けて動いているので、来年の対応はできない。」と報道されていましたが、新たに知った意外な事実でもありました。

この流れからピンときたかと思いますが、そうです。9月10日は「下水道の日」です。他にも9月10日は「屋外広告の日」、または語呂合わせで「C-ute（キュート）の日」等、が記念日として定められていますが、ここではやはり「下水道の日」を取り上げます。

国土交通省のhpによると、「下水道の日」は、昭和36年に始まった「全国下水道促進デー」を由来とした歴史ある記念日であり、また、9月10日に定められたのは、下水道の大きな役割の一つである「雨水の排除」を念頭に、台風シーズンである210日を過ぎた220日（立春から数えて）が適当であるとされたことによるものです。

「下水道の日」は祝日ではありませんが、「下水道の日」を中心とした前後1週間の間で、下水道事業者である各自治体により下水道にちなんだ各種催しが全国で展開されています。例えば、私が居住している自治体では、昨年度において8月中旬の5日に亘り下水道展が開催されました。下水道展では、下水道のしくみや役割、整備の計画や普及状況などを示したお決まりのパネル展示のみならず、処理場の水の流れが把握できる模型や汚水の分解に活躍する微生物の顕微鏡による観察コーナーが展示されるなど、下水道に興味を抱かせるような視覚に訴える工夫がなされています。展示内容は子供を対象としたものが主眼ですが、降雨体験車による台風時の雨の実演など、大人でも十分楽しめるものもありました。

これから本格的に各自治体のhp等にて今年の「下水道の日」に係るイベント案内が掲載されるかと思いますが、傾向として平日に開催されるものが多いようですが、休日に開催されるイベントも幾つかあるようですので、hp等で内容を確認し、勤め人の皆様も是非ご参加ください。